

9月 日本共産党県議団 県議会ニュース です

毛利栄子議員の9月県議会一般質問の答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



＊ ＊8月豪雨災害について＊ ＊

毛利 被災地をまわり、「住宅は損壊しなかったが、土砂が敷地内に入りエアコンの室外機や給湯器などが使えなくなり、買い替えに費用がかかる。」という声があるが、公的支援はあるのか。民間の保険でも救済されない場合もあり今後何らかの支援を検討すべき。

危機管理部長 住家被害がない場合は難しい状況。災害に対しては様々な保険や共済があり、それらに加入するなど事前の備えを推奨しており、保険制度の充実も期待される。

毛利 高齢者等避難が出てても要配慮者は体育館等に避難できない方がいるが、要配慮者への避難のあり方について伺う。

危機管理部長 避難所運営マニュアル策定指針の中で、要配慮者へ配慮した避難所運営を示すとともに、災害時住民支えあいマップの作成、個別避難計画の策定促進を通じ、誰もが安心安全に暮らせる社会づくりを目指している。

＊ ＊国道20号諏訪バイパスについて＊ ＊

毛利 今回の豪雨による土石流災害を見ても、中央構造線と糸魚川静岡構造線が交わる地域の断層に沿って計画されていることに不安の声もある。特に明かり部の一帯は土砂災害警戒区域になっており、8月の豪雨で大規模な土砂崩落が起きた場所でもある。安全性についての検証をどう行うのか。

建設部長 トンネル構造での断層帯の通過をできる限り回避するとともに、土砂災害警戒区域においては地形の改変を極力少なくした計画だ。今後国においては道路土工構造物技術基準等に基づき、安全性に十分配慮した設計が実施されることとなっている。

＊ ＊新型コロナウイルス感染症対策について＊ ＊

毛利 保育所や児童館、児童センター、児童クラブなど密にならざるを得ない環境下で子どもたちを感染から守るため、保育所に簡易検査キットを配るだけでなく家庭にキットを配布し、不安があればまず自主検査を迅速にやってもらい、早期発見に努めるべき。

健康福祉部長 市町村と連携をし、一般家庭を含めた希望者に抗原簡易キットを配布する陽性者の早期発見事業を実施する。今後とも必要な検査を幅広く迅速に実施する。

毛利 県が市町村と実施する検査キットの配布についてはレベル5以上ということで、保護者や保育者は密も避けられない環境下で神経を使って保育しているので、無償の検査キットの配布は未然防止や拡散防止のためにもぜひ必要だ。

＊質問を終えて＊

被災者生活再建支援は世論と運動で徐々に改善されてきましたが、災害が多発するもとでは室外機や給湯器などの支援も新たに求められているので、引き続き求めていきます。

